

## 8. 環境教育

### (1) ゾウ糞エコサイクル事業

動物の糞から作った堆肥で野菜を栽培し、動物に給餌することにより、自然界での循環を自らの体験を通して学ぶ。仙台大学附属明成高等学校と連携し、活動を計画したが新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となった。

### (2) 現職学校教員への研修（宮城教育大学連携事業）

今年度の教員免許状更新講習はオンライン実施となり、当園での実地研修については実施を見送った。

### (3) メダカの増殖保全事業（宮城教育大学連携事業）

宮城教育大学が東日本大震災の津波被害を受けた仙台市沿岸部のメダカを保護していたことから、八木山動物公園および有志市民等（メダカの里親）が協力してメダカを繁殖させ、元の生息域へ還元させることを目的とした保全事業。

令和元年度の里親募集終了までにメダカの里親となった市民等は227組（うち学校6校、その他施設等4）。

6月 「メダカ里親通信」を発行。

9月19日 若林区まちづくり推進課と合同で、東六郷コミュニティセンターにて「メダカ里親合同交流会」を実施  
放流という一つの節目に向かい、当園のメダカの里親と六郷東部地区のメダカの里親および地区住民がメダカの放流地見学や交流会を通じて、本事業の今後について理解を深めた。

1月18日 若林区まちづくり推進課と合同で「メダカ池勉強会」を実施  
六郷東部地区町内会長、宮城教育大学、工事関係者が出席し、完成したメダカ池の見学及び今後の池の管理について勉強会を実施した。

3月27日 仙台市による東六郷コミュニティ広場完成記念式典（中止）

式典の中でメダカ里親代表によるメダカ池へのメダカの放流を行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、宮城県・仙台市独自の緊急事態宣言が発令され中止となった。



「メダカの里親通信」



メダカ里親合同交流会の様子